

6年目



訪問看護ステーション
すくも
川田瑞華さん

7年目



訪問看護ステーション
かがみ川
黒田周作さん

9年目



訪問看護ステーション
ちかもり
扇谷静香さん

Q



新卒として訪問看護スタートアップ研修を修了し、訪問看護の経験を重ねた今だからこそ感じる、ご自身の成長ややりがいを教えてください。

A

研修では座学だけでなく、演習を通じて訪問看護のイメージができたこと、対応が難しいケースなども振り返る時間を作り、良かったこと、悪かったことを理解したうえで、不安を解消しながら前向きに仕事に取り組むことができました。初めは目の前のこと一つ一つに精一杯でしたが、徐々に対応力が身につき、自信をもって発言をできることも増え、楽しさ、大変さも合わせてやりがいを感じています。

Q



これからどのような訪問看護師を目指していきたいですか。今後の目標を教えてください。

A

初心を忘れず、丁寧な看護を実践していきたいです。忙しいなかでも、利用者さんやご家族など関わる方々と一喜一憂する時間を大切にできる訪問看護師でいたいです。

Q



訪問看護師として働く上で、特にキャリアの早期に「これだけは身に付けてほしい」と思うスキルやマインドを挙げるとしたら何ですか。

A

結果を焦りすぎない気持ちを持つこと、そして看護技術については経験を積み重ねるために常にチャレンジする姿勢が大切だと思います。

Q



新卒として訪問看護スタートアップ研修を修了し、訪問看護の経験を重ねた今だからこそ感じる、ご自身の成長ややりがいを教えてください。

A

急変時の対応の研修で学んだアセスメント力が活かしています。落ち着いて判断し、医療機関やご家族に報告できるようになった事で、安心につながれたと感じます。

Q



これからどのような訪問看護師を目指していきたいですか。今後の目標を教えてください。

A

利用者さんやご家族の安心した療養生活を支える看護師を目指したいと思っています。そのために、訪問看護師としてのスキルを向上し、信頼される存在になりたいです。

Q



新卒で訪問看護師を目指す方へメッセージをお願いします。

A

訪問看護では、「生活をみる」という視点が大事です。戸惑うこともありますが、現場での経験が確実に力になると思います。困った時は支えてくれる方がいますので、自信を持って挑戦してほしいです。

Q



新卒として訪問看護スタートアップ研修を修了し、訪問看護の経験を重ねた今だからこそ感じる、ご自身の成長ややりがいを教えてください。

A

研修では訪問場面を想定したフィジカルアセスメントや事例検討を行います。その学びが対象の全身状態の観察の視点、予測される状態に対する利用者さん、ご家族への聞き取り等、現在の訪問においても思考を整理して判断することに繋がっていると感じます。研修を通して訪問看護の基礎を学ぶことができたからこそ、多くの利用者さん、ご家族に出会い、個別に応じた対応にも繋がり、在宅看護の奥深さを感じることができていると思います。

Q



新卒で訪問看護師を目指す方へメッセージをお願いします。

A

いつか訪問看護師になろうと考えている、興味のある方はぜひ一歩を踏み出してみてください。私自身も迷うことがありましたが、新卒から訪問看護師となり、様々な利用者さん、ご家族の望む生活へ向き合ってきた時間は、私にとって人生の財産となっています。また、仲間・多職種の方々からも多くを学び、今の自分が形成されています。新卒から訪問看護師となることは、全国的にも珍しいことではなくなったと感じます。ぜひ、一緒に訪問看護師として働いてみませんか。

Q



訪問看護師として長く働き続けるために大切なことは何だと思いますか。

A

初心を忘れないようにしています。新卒時に受け入れてくださった利用者さん、ご家族のことを思い出し、訪問看護師として精進しようと思う気持ちが湧いてきます。また、キャリア形成する中で、自分はどういう看護師になりたいのか考え、大学院へ進学することも選択してきました。自問自答して「今、自分は後悔のないキャリア（看護師としてでなく人生を通して）を進むことができるのか」を考え続けていくことを大切にしています。

Message



高知県訪問看護連絡協議会 会長
高知中央訪問看護ステーション 管理者
安岡しずかさん

高知県訪問看護連絡協議会では、令和5年度より高知県の委託を受け、高知県訪問看護総合支援センターの運営を行っています。当センターでは、看護学生の皆さんの支援として、訪問看護ステーションの仕事を体験できるようにインターンシップの調整や、地域の訪問看護ステーションと新卒看護師の雇用をマッチングできるようにニーズ調査を行っています。

また、新卒訪問看護師の育成に関しては、現場の声をもとに現状や課題について、高知県看護協会や高知県立大学、高知医療センター等と連携しながら、より実践的で充実した研修内容を提案していけるように取り組んでいます。

訪問看護は、子どもから高齢者まで様々な病気や障害を持ちながら地域で暮らす人と家族へのケアを行う多様性が求められます。今後も高齢化が加速していく高知県の中で、ひとりでも多くの県民の方が住み慣れた地域で最期まで暮らすことができるように、地域で活躍できる看護職の育成を応援しています。



高知医療センター 看護局長
田鍋雅子さん

2年目訪問看護師の倫理研修に加えて、令和5年度より手技向上研修と病棟実習の受入れを開始しました。手技向上研修は、4月に当センターの新卒看護師と一緒に受講していただく研修です。研修内容はプログラムの中からニーズに応じて選択することができます。

令和5年度は医療安全、感染対策の講義や血糖測定、採血、静脈留置針の挿入、褥瘡ケアなど技術研修を受講していただきました。すでに経験したことのある手技を根拠や感染管理の視点から再考する時間にもなっています。

病棟実習は、10月頃に訪問時に対応の多いケアなどを中心にニーズに沿って行っています。指導者は、新人看護師の指導に携わっている実地指導者リーダー、看護副科長や教育担当者です。病院での実習から在宅看護でのポイントを考えるなど、気づきを大事に支援しています。



高知県看護協会 会長
森下安子さん

高知県看護協会は、高知県、高知県立大学、高知医療センターなど関係機関と連携しながら、新卒訪問看護師が一人で自律して看護実践ができるために必要な研修の機会を提供しています。就職された4月には新人看護職員多施設合同研修を開催しており、コミュニケーション、医療安全、フィジカルアセスメントや輸液などの基本的な看護技術の習得が可能です。高知県内の医療機関に就職した新人看護職員と共に学ぶことで仲間と交流する機会にもなっています。他にも研修ラダーに沿って、制度、看護技術、専門分野の看護実践など年間を通して研修を計画しています。今後さらに少子高齢化、人口減少が進むなか看護職の生涯教育を支援する職能団体として、高知県の訪問看護師育成、特に新卒の方など若手の訪問看護師育成が重要と考えて支援に取り組んでいます。

高知県立大学健康長寿研究センター

高知県訪問看護師育成講座

〒781-8515 高知県高知市池2751番地1
TEL: 088-847-8815 FAX: 088-847-8579
E-mail: homecare@cc.u-kochi.ac.jp
<https://www.u-kochi.ac.jp/site/homecare/>



県内の訪問看護ステーションでインターンシップが可能です！

詳細は高知県訪問看護連絡協議会のホームページをご覧ください
<https://www.kochi-houkan.com/>



高知県
訪問看護師育成講座

新卒
訪問看護師
募集

高知家を支える
訪問看護師になりませんか？

訪問看護 スタートアップ 研修



高知県内の
訪問看護ステーションに
新卒で就職された方を
対象に、大学と所属先で
1年間の研修を行います

新卒訪問看護師の声

実際に受講した新卒卒修了者のうち1～9年目の訪問看護師に質問しました

check!

新卒訪問看護師の声は
ホームページからも
ご覧いただけます



1年目



訪問看護ステーション
ちかもり
村岡沙優さん

Q 新卒で訪問看護師として働くことを選択されたきっかけを教えてください。

A 公衆衛生看護学での学びや、訪問看護師を対象にした看護研究に取り組む中で、地域で暮らす人々が病気をもちながらも自分らしく住み慣れた場所で生活できるよう支援したいと考えようになったからです。

Q 新卒訪問看護師として働きながら研修を受講するにあたり、どのような不安がありましたか。

A 新卒から訪問看護師として働いている方が周りに少なかったため、自分がどのように成長していけるのか、どのように学んでいくと一人前になれるのかなど自分の将来像が見えないことに不安を感じていました。

Q 本研修は学びを現場の実践に活かし、振り返ることで実践力を高める学習支援が特徴ですが、どのように役立ちましたか。

A 自分が実践したことや感じたこと、判断に迷ったりどうしたらよいか分からなかったりしたことなど一つ一つを振り返るため、見るべき視点だけでなく、自分自身が躓きやすい部分にも気づくことができます。自分ができることや課題を整理しながら取り組むことができていると感じています。

Q 新卒訪問看護師として働いてみて、やりがいを感じたことを教えてください。

A 感謝の言葉や評価をいただいた際にやりがいを感じました。訪問看護師が介入することで、利用者さんやご家族の安心に繋がり、望む生活が維持できるように知識と看護実践能力を身につけていきたいと思っています。

Q 新卒として訪問看護スタートアップ研修を修了し、訪問看護の経験を重ねた今だからこそ感じる、ご自身の成長ややりがいを教えてください。

A 実践的な知識や技術は様々な場面で活きていると感じます。知識や技術が身につけていたり、訪問できる自信が全くなかったお宅に単独訪問できたりと、できることが増えていると実感できたときにやりがいを感じます。

Q これからどのような訪問看護師を目指していきたいですか。今後の目標を教えてください。

A 今後は、利用者さんの生活と疾患を結びつけて考え、根拠と自信を持って看護ができるようになりたいです。最終的には、「安心して任せられる」と心から思ってもらい、信頼してもらえる看護師になりたいと考えます。

Q 新卒で訪問看護師を目指す方へメッセージをお願いします。

A 利用者さんから感謝の言葉をいただいた時には在宅生活を継続する力になれるとの実感があります。訪問看護師になってよかったと日々思っているので、ぜひ新卒から訪問看護師を目指してほしいです。

Q 新卒として訪問看護スタートアップ研修を修了し、訪問看護の経験を重ねた今だからこそ感じる、ご自身の成長ややりがいを教えてください。

A 一人で訪問することが怖くなったことが一番の成長だと思っています。特にフィジカルアセスメントに不安があったのですが、事例を相談したり何回も演習とフィードバックをしていただいたことで自信に繋がりました。

Q 困った時や悩んだ時期はどのように対処をされ、乗り越えてこられましたか。

A 先輩方や先生方、同期の皆さんに相談しながら、その時必要な知識や技術をつけることでできることを増やしていききました。

Q 新卒で訪問看護師を目指す方へメッセージをお願いします。

A 悩むことも多いですが、とてもやりがいのある働き方が訪問看護師だと思っています。一緒に頑張っていきたいです！

2年目



高知中央
訪問看護ステーション
都築あずさん

3年目



訪問看護ステーション
ドリームチーム
川西みなみさん

Schedule

新卒訪問看護師一人前への道

訪問看護は自宅や施設など地域のなかの暮らしの場で実践する看護です。高い実践力や自律性が求められ、臨床経験のない新卒の看護師には、訪問看護は難しいと言われてきました。高知県では、平成27年度から訪問看護ステーションと大学、その他協力機関が連携して、訪問看護に必要な知識・技術・態度を習得できる新卒訪問看護師育成のための学習支援を行っています。毎年数名の新卒訪問看護師を育成しています。

1年目

voice
1人で訪問看護ができる実践力を身につけ、
組織の一員として役割を果たすことができるようになる。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
Work 仕事															
新人研修 → 同行訪問・時間差訪問 → 単独訪問 (実践力の習得状況に応じてすすめず)															
■ 就職 ■ 入職時 新人研修	■ 利用者さん宅へ初めての訪問 ■ 看護記録の作成	■ 外来病棟研修	■ 利用者さんごとの手順書 の作成	■ 看護計画・報告書の作成	■ 単独訪問見極め	■ 単独訪問 スタート		■ 様々な利用者さんを訪問							
Training 研修															
大学での講義・演習 → OJT(実地研修)・ケースプレゼンテーション															
■ 開講式 ■ 看護技術チェック		■ 「地域調べ」を行い、 訪問エリアの魅力を再発見 ■ 病院看護師や先輩看護師と 一緒にグループワーク ■ 看護技術・OJTチェック	■ 福祉機器の学習	■ 教員がステーションに向き 所長さん先輩とともに振り返り	■ フィジカルアセスメント研修① ■ 看護技術・OJTチェック ■ 毎週のケースプレゼンテーションでケアを考える ■ 新卒2年目の先輩の経験から学ぶ		■ フィジカルアセスメント研修② ■ シミュレーターを用いて、 手技の演習	■ フィジカルアセスメント ワークショップ ■ 在宅BLS研修(外部) ■ 看護技術・OJTチェック	■ 実践の振り返りと自己学習	■ フィジカルアセスメント研修③ ■ 看護技術・OJTチェック	■ 1年間の総まとめ ■ 修了式				
＜高知医療センターでの手技向上研修＞															
開始～3ヶ月目			4ヶ月目～12ヶ月目												
週3回の大学での講義・演習・振り返り 訪問看護に必要な知識と技術の習得を目指します				所属の訪問看護ステーションでのOJT 先輩との同行訪問 時間差訪問・単独訪問・振り返りを行い、 訪問看護の現場で実践力を高めます				受け持ち事例の展開 年間4～6例の受け持ち事例の アセスメント・看護計画・看護手順の 立案をし、単独訪問に繋げます				専任教員のサポート 専任教員が訪問看護ステーションに向き、利用者さんへの アセスメントやケアに対するアドバイス、学習の進捗状況の確認・相談などに対応し、 訪問看護師としての成長をサポートします			
個別学習ニーズに対応した研修体制 例 訪問診療の診療医師等との同行訪問研修、病院の病棟・外来・退院調整室での研修、 就職した訪問看護ステーション以外の 訪問看護ステーションでの研修など															

2年目

voice
訪問看護の専門知識・技術を高め、緊急訪問や24時間対応ができるようになる。
生活や地域を見る視点を持ち、多職種と連携・協力ができるようになる。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
FollowUp 研修											
月4回程度のフォローアップ研修											
■ 研修計画を立てよう ■ OJTチェック	■ フィジカルアセスメント研修①	■ 2年目研修(在宅CNS)	■ 在宅における リスク予防と対処		■ フィジカルアセスメント研修②	■ OJTチェック	■ 24時間体制と 緊急訪問への対応	■ 家族の力を活かす支援と 家族教育 ■ 在宅BLS研修(外部)	■ 在宅の症状マネジメント 「がん疼痛」	■ フィジカルアセスメント研修③ ■ 在宅看取りとエンゼルケア	■ 退院支援と訪問看護 ■ OJTチェック
13ヶ月目～24ヶ月目											
■ 月に4回程度のフォローアップ研修を実施 看取り、多職種連携、退院支援、リスクマネジメントなどの多様な研修を実施											
定期的なシミュレーショントレーニングを実施 18ヶ月頃には、急変対応や、24時間の電話当番ができるように定期的なシミュレーショントレーニングを実施											

3年目

voice
複雑なニーズを持つ利用者さんやご家族の支援ができるようになる。
退院支援・看取り支援など意思決定支援ができるようになる。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
FollowUp 研修											
3ヶ月に1回事例展開(ケースプレゼンテーション)、フィジカルアセスメントワークショップなど											
■ 職場の教育計画に 沿った研修	■ ケースプレゼンテーション	■ ケースプレゼンテーション	■ ケースプレゼンテーション	■ ケースプレゼンテーション	■ フィジカルアセスメントワークショップ						
＜3年目病棟研修＞											

自信を持って訪問看護ができるように
臨床判断の力をつけましょう！



4年目

voice
ケア検討会、事例研究などを通して、
自らの看護を言語化し、説明ができるようになる。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
FollowUp 研修											
年に数回の事例展開(ケースプレゼンテーション)、フィジカルアセスメントワークショップなど											
		■ ケースプレゼンテーション							■ ケースプレゼンテーション		
		■ フィジカルアセスメントワークショップ							■ フィジカルアセスメントワークショップ		

新卒訪問看護師のモデルに
なれるようにがんばれ～！



フィジカル
トレーニング



教員との
面談



スキルチェック
シミュレーション
研修